

# 河内長野市立長野小学校 令和5年度 第4回学校運営協議会

令和6年2月1日(木)18:30~

於:長野小学校 会議室

欠席者(森本委員)

## 1. 会長挨拶

●新年早々の震災と飛行機事故のショックなニュースに心を痛めた。少しでも早く復興されることを願っている。

## 2. 学校運営に関する協議

### (1) 児童の様子について

- インフルエンザで学級閉鎖が相次いでいる。また、海外からの急な転入生もあり、日本語指導教員のみでなく、様々な教員で不安を感じないように対応している。
- 冬休み明けは、茶色の頭髪で指導することはほとんどなかった。ただ、ピアスの指導があったなど、休み明けの子どもの様子には気をつけている。

### (2) 学校教育アンケートについて

- ・昨日、保護者に配付。2月中に回収、分析し、第5回で協議
- ・委員さんにもアンケートに協力いただきたい。(別紙;本日帰りに提出)

### (3) 中学校区の実践について

- 折鶴プロジェクトが今日あった。中学生とともに小学生は楽しく活動していた。
- 元学校運営協議会の池西委員におこしいただき、自身の戦争体験を語っていただいた。当時の暮らしについて、写真も交えながらお話しいただき、子どもたちの心に響く時間であった。

### (4) 150周年記念式典について

#### ○当日の流れについて【別紙参照】

- 地域の方がお越しになる受付対応をお願いしたい。また、辻野会長と中村実行委員長には、来賓対応をお願いしたい。
- 第1部について、学校運営協議会のみなさまは、学校関係者として舞台上にあがっていただきたい。

○植樹式について【別紙参照】

●校門開放と同日の2/21(水)実施。地域のみなさまと保護者のみなさまにも呼び掛けている。

### 3. 学校運営協議会の活動について

(1) 校門開放について

○1月6日(水)に実施した校門開放について

・子ども達の様子

●竹馬や、竹ぼっくりでは、地域の方に支えてもらいながら1歩2歩と前に進めることを子どもたちは喜んでいて。今回も「次いつあるの」と楽しみにしている様子だった。

・地域の方の参加の様子と、来年度の方向性について(区長会より)

●昨年は、校門開放をやめるか違うことをするかなど、実施することに不安があったが、今年、何度かやってみて区長の考え方も変わった。今では、来年度に向けて、もう少し多い人数で支援できそうな地区もある。

●来年度について、区長会としては、3か月を3地区でまわすことで年間9回の実施ができるよう支援したいと考えている。このあとで、協議を。

○次回2月21日(水)【雨天:28日(水)】

(2) コミュニティーガーデンの花植えについて

●昨年同様、花で「おめでとう」のイメージを作る。参加協力を。

(3) 今後の活動について

《学力・体力向上委員会》

●校門開放について、たくさん実施できるように考えてくださって非常にありがたいが、学校では夏の暑い時期に外遊び禁止となることがある昨今の現状や、行事で休み時間が確保できない時期があることなど考慮し、年間6回の実施ですすめたいと考えている。

●今後も支援者が増えるよう、実施日と内容を発信をしていくことが大切。

《楽しく安心できる学校生活委員会》

●学習園を活用した学習から、教科書だけで学べない経験をさせたいが、学校だけではなかなか活用しきれない現状がある。学校運営協議会から募集をかけるなどすれば、畑作業が好きな人の協力も得られるのではないかと。地域の力を借りたい。

#### 《夢・キャリアアップ委員会》

- 池西さんの戦争体験の聞き取りがとてもよかった。教科書だけでなく、実際の話聞く学習がとてもいい。
- キャリア教育の視点を大切にしたい。地域の中にもいろいろな人がいる。命の教育では看護師や助産師を招くなどもいい。心に響く教育をすすめたい。

#### 4. その他

- 2月20日(火)2年生の昔遊びについて、地域の方のご協力を。  
⇒健全育成会と民生児童委員に今年も呼びかけを行っている。

#### 5. 次回協議会

3月7日(木) 18時30分 於:長野小学校 会議室

#### 6. 学校長挨拶

- 学級閉鎖の状況について、閉鎖に至らない学級も、欠席者が多い状況ではいつも通りのペースで学習をすすめられない。また、長期で欠席した児童に対して学習の差を埋めようと疲労感もある。それでも職員はがんばっている。
- 150周年がいよいよ迫ってきた。バタバタするかもしれないがお力添えを。
- 今日は何の日「においの日」「テレビ放送記念日」など。大学卒の初任給が8000円だった当時、テレビは17万円。先日行った朝食アンケートでは、食べない理由として「ゲームをしたいから」とあった。便利な世の中になると、課題も出てくる。
- 時代が変わると、職員も多様な対応をしなければならない。そういった時に、ゲストティーチャーとしてお越しいただくなど、地域の力が大きな支えとなる。今後ともご支援を。